

【9月中旬、午後8時頃に見える星空】

気候変動が地球を覆っておるのう。季節は秋を迎えるが、暑い9月になりそうじゃよ。この夏、星空はスッキリしなかつたが、9月の夜空はたくさん星たちと巡り合いたいものじゃ。ともあれ、秋の星空に出かけよう！

ハイ！ホミリーもこの夏、あんまり星に会えなかつたから、ムスムスしていたんだ。秋の星空楽しみだね！



秋の星空に、でっかい宇宙を感じてみよう！

この時季、1年で一番きれいな姿を見せてくれる天の川。それは、数千億個の星の大集団「天の川銀河」の正体であり、その一員である地球から見えた姿だ。夜空に広がる星たちもまた、ほとんど天の川銀河の中の星たちじゃよ。実はこの天の川銀河、つい100年ほど前までは、「銀河系」と呼ばれていた。そんな中、銀河系の大きさ(直径)をはるかに超える遠い場所にある天体(まっぷのM31)が計測された。それまで銀河系内の星雲とされていたその天体が、銀河系の外にある星の大集団「銀河」であることが分った。「宇宙」のイメージの大転換じゃな。この天体が秋の星空の人気者「アンドロメダ銀河」。驚くことにこの銀河、我々の住む天の川銀河のすぐ隣りの銀河でありながら、その距離なんと約230万光年(諸説あり)。

現在、一説では銀河は2兆個以上あるとのこと。夜空の向こうには、そんな広大な銀河の世界が広がっているんじゃな。驚くばかりじゃ。さあ、肉眼で見える最遠の天体「アンドロメダ銀河」を見つけて、宇宙の大きさ、でっかい宇宙を実感してみよう！

星爺(ほしじい)

夏の夜空をつらぬく「天の川」 その輝く姿を見上げよう！

天の川が、地球からみた天の川銀河の姿なんだったこと、分ったかな？

でも、『天の川』って、名前や映像で見ただけではあるけど、本物の姿は見えないかな？。知らないと言おう人がほとんどではないかな？。そこで、この9月の夜空に、ぜひ本物の「天の川」を見上げてみようではないか！

天の川は、夜空の真上を、左上(北東方向)から右下(南西方向)にかけて空の真中を真っ二つに割るよう流れている。分かるかな？しかし、周りが明るかったりすると、天の川は見えない。そこで、「空が広く見渡せ、周りが十分に暗く、月明りの影響が少ない」頃合いを狙って見上げることじゃな。

☆「中秋の名月」を楽しもう☆
今年、9月29日(金)の月が、「中秋の名月」。秋の澄んだ夜空に昇る丸い月を愛でる「お月見」の日だ。旧暦の秋は、7月～9月に当たり、その真中の8月15日に見える月を「中秋の名月」と呼び、秋の収穫を感謝する伝統行事でもある。今年、正に満月の名月、団子を食べながらお月見を楽しもう！

【星空まっぷの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっぷをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね！

N↑

南S

M31: アンドロメダ銀河

北斗七星

北極星

カシオペア座

アンドロメダ座

天の川

秋の四辺形

夏の犬三角

木星

土星

アルクトゥルス

アルタイル

はくちょう座

ペガスス座

うお座

みずがめ座

はるかに超える遠い場所

天の川銀河

秋の星空

宇宙

銀河系

天の川

銀河

大集団

銀河系

外にある

星の大集団

「銀河」

である

ことが

分った

。「宇宙」

のイメージ

の大転換

じゃな

。この天体

が秋の

星空の

人気者

「アンドロメダ銀河」

。驚くことに

この銀河

、我々の

住む天の川銀河

のすぐ隣りの

銀河

でありながら

、その距離

なんと約230万光年

(諸説あり)。

現在

、一説では

銀河は2兆個

以上ある

とのこと

。夜空の

向こう

には

、そんな広

大な銀河

の世界が

広がって

いるん

じゃな

。驚く

ばかり

じゃ

。さあ

、肉眼で

見える

最遠の

天体

「アンドロメダ銀河」

を見つ

けて

、宇宙

の大き

さ、で

っかい

宇宙

を実感

して

みよう！

- 1等星以上
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下

● (黄道) 天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道